

特定非営利活動法人 海洋音響学会

2025 年度総会資料

通常総会・表彰式

月 日 2025 年 5 月 21 日 (水)

場 所 東京科学大学蔵前会館ロイヤルブルーホール及びオンライン会議による

◇第 22 回通常総会 (通算第 53 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
 - 第 1 号議案 2024 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)
 - 第 2 号議案 2025 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)
 - 第 3 号議案 2025, 2026 年度役員の選任について (資料 6)
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

◇第 49 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 論文賞贈呈 (別紙 2)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 2)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 3)

2024 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2023 年度 末	2024 年度 末	備 考
名 誉 会 員	15 名	15 名	定期購読者： 4 機関（2024 年度）
終 身 会 員	7 名	7 名	
通 常 会 員	268 名	265 名	
賛 助 会 員	25 社 39 口	26 社 40 口	

(2) 第 21 回通常総会

2024 年 6 月 13 日（木）13:00～13:30

東京大学をホストとしたオンライン会議および対面のハイブリッド開催において、会員数 287 名の内、出席者 158 名（内、オンライン会議出席 10 名、書面若しくは電磁的方法による表決者 34 名、表決委任者 66 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2024 年度事業計画及び予算について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会より、川崎良道氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び決算について

議長より、2023 年度事業報告書(案)、会計理事及び監事より 2023 年度活動計算書、2023 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表、2023 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2023 年度計算書類の注記を配布し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2024 年度事業計画及び予算について

議長より、2024 年度事業計画書(案)、会計理事より 2024 年度活動予算書（案）を配布し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

なお、提出書類の軽微な事項の修正については、総務理事に一任する。

(3) 第 48 回表彰式

総会に引続き、東京大学をホストとしたオンライン会議および対面のハイブリッド開催にて開催した。

論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した。

①題目 Volume backscattering spectra measurements of Antarctic krill
using a broadband echosounder

受賞者（所属（当時）） Natsuki Yamamoto （東京海洋大学）
Kazuo Amakasu （東京海洋大学）
Koki Abe （水産資源研究所）
Ryuichi Matsukura （水産資源研究所）
Tomohito Imaizumi （水産技術研究所）

Tomohiko Matsuura (水産技術研究所)
Hiroto Murase (東京海洋大学)

掲載誌 Fisheries Science, Vol.89, pp.301-315(2023)

②題目 Statistical analysis of measured underwater radiated noise
from merchant ships using ship operational and design parameters

受賞者(所属(当時)) Masahiro Sakai (大阪大学)
Reo Haga (大阪大学)
Toshio Tsuchiya (東京海洋大学)
Tomonari Akamatsu (海洋政策研究所)
Naoya Umeda (大阪大学)

掲載誌 J. Acoust. Soc. Am. Vol.154, 1095-1105 (2023)

業績賞贈呈

以下の者に業績賞を贈呈した。

題目 複数 AUV 管制用音響通信測位統合装置の開発
(推薦にかかわる仕事をした期間: 2018 年~2022 年)

企業名 株式会社日立製作所

受賞者(所属(当時)) 近藤 哲之 (株式会社日立製作所)
目黒 浩二 (株式会社日立製作所)
永田 光 (株式会社日立製作所)
大澤 史郁 (株式会社日立製作所)
渡邊 佳孝 (海洋研究開発機構)

JAMSTEC 中西賞

以下の者に JAMSTEC 中西賞が贈呈されたことを報告した。

題目 音響キャビテーションノイズを用いる層構造体の広帯域音圧反射率計測

受賞者(所属(当時)) 黒山 喬允 (防衛大)
小笠原 英子 (防衛大)
森 和義 (防衛大)

掲載誌 海洋音響学会 2023 年度研究発表会 講演論文集, pp. 33-36

(4) 理事会

年度中 4 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 8 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

2024 年度

事業報告書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2024 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、会誌の発行、研究発表会、談話会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 2. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞の表彰をしたほか、本年度の優秀論文賞、業績賞の表彰候補選考、及び JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会の開催、日本海洋工学会等との交流を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,432】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
普及啓蒙事業	会誌 194, 195, 196, 197 号を発行した。また、学会誌の電子化を実施した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	20 人	海洋音響に関心のある者	約 450 人	1,918
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	6 月 13 日 6 月 14 日	ハイブリッド開催（東京都目黒区、オンライン会議）	20 人	海洋音響に関心のある者	約 150 人	1,809
普及啓蒙事業	談話会を 1 回開催した。	8 月 27 日	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者	約 200 人	197
普及啓蒙事業	「水中生物の聴覚と騒音の影響」をテーマに技術講習会を開催した。	12 月 17 日	東京都新宿区	10 人	海洋音響に関心のある者	約 70 人	600
普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8 人	一般市民	不特定多数	378
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	6 月 13 日（表彰） 6 月 25 日 3 月 6 日 *3 月 31 日（委員会）	オンライン会議 *印はメール稟議	12 人	海洋音響の研究者	約 10 人	520

企画交流促進事業	企画運営委員会を3回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	9月25日 12月19日 2月3日	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	10
企画交流促進事業	学会誌アーカイブデータのホームページ掲載、ホームページ英文化の検討を行う。	随時	ハイブリッド開催（東京都新宿区、オンライン会議）	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	0

書式第13号（法第28条関係）

2024年度 活動計算書			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
(単位：円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,584,000		
賛助会員受取会費	7,380,000	8,964,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	967,940		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	967,940	
3 受取補助金	0	0	
4 受取寄附金	0	0	
5 その他収益			
雑収益	81,621	81,621	
経常収益計			10,013,561
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	70,189		
人件費計	70,189		
(2) その他経費			
事務委託費	1,479,179		
消耗品費	636,055		
通信運搬費	29,580		
旅費交通費	75,537		
印刷製本費	1,680,613		
会議費	1,065,093		
謝金	375,000		
雑費	21,062		
その他経費計	5,362,119		
事業費計		5,432,308	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,572,502		
消耗品費	53,353		
通信運搬費	199,885		
旅費交通費	55,690		
印刷製本費	7,639		
会議費	298,722		
雑費	11,160		
その他経費計	3,198,951		
管理費計		3,198,951	
経常費用計			8,631,259
当期経常増減額			1,382,302
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,382,302
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			23,590,954
次期繰越正味財産額			24,973,256

2024年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	19,291,517		
流動資産合計		19,291,517	
2 固定資産			
基本財産	6,540,261		
固定資産合計		6,540,261	
資産合計			25,831,778
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	644,522		
前受金	12,000		
前受会費	192,000		
預り金	10,000		
流動負債合計		858,522	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			858,522
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,590,954	
当期正味財産増加額		1,382,302	
正味財産合計			24,973,256
（うち基本財産）			(6,540,261)
負債及び正味財産合計			25,831,778

2024年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	0	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店）	15,179,724	
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店・事務局）	317,234	
郵便振替（ゆうちょ銀行高田馬場支店）	3,794,559	
流動資産合計		19,291,517
2 固定資産		
基本財産		
定期預金（三菱UFJ信託銀行本店営業部）	6,540,261	
固定資産合計		6,540,261
資産合計		25,831,778
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	644,522	
前受金	12,000	
前受会費（次年度会費）	192,000	
預り金	10,000	
流動負債合計		858,522
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		858,522
III 正味財産の部		
繰越正味財産 （うち基本財産）		24,973,256 (6,540,261)

重要な点において適正に表示しているものと認める。

2025 年 4 月 22 日

監事 遠藤 信行 印

監事 蜂屋 弘之 印

2024 年度正味財産 24,973,256 円は全額次年度に繰越することとする。

2024年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	8,964,000	8,964,000
2. 事業収益	0	967,940	0	0	967,940	0	967,940
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	81,621	81,621
経常収益計	0	967,940	0	0	967,940	9,045,621	10,013,561
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	70,189	0	0	70,189	0	70,189
人件費計	0	70,189	0	0	70,189	0	70,189
(2) その他経費							
事務委託費	0	1,479,179	0	0	1,479,179	2,572,502	4,051,681
消耗品費	0	216,502	419,553	0	636,055	53,353	689,408
通信運搬費	0	29,580	0	0	29,580	199,885	229,465
旅費交通費	0	75,537	0	0	75,537	55,690	131,227
印刷製本費	0	1,680,613	0	0	1,680,613	7,639	1,688,252
会議費	0	1,065,093	0	0	1,065,093	298,722	1,363,815
謝金	0	275,000	100,000	0	375,000	0	375,000
雑費	0	10,897	165	10,000	21,062	11,160	32,222
その他経費計	0	4,832,401	519,718	10,000	5,362,119	3,198,951	8,561,070
経常費用計	0	4,902,590	519,718	10,000	5,432,308	3,198,951	8,631,259
当期経常増減額	0	△ 3,934,650	△ 519,718	△ 10,000	△ 4,464,368	5,846,670	1,382,302

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,537,794	2,467	0	6,540,261
合 計	6,537,794	2,467	0	6,540,261

書式第8号（法第10条・第25条関係）

設立・定款変更用

2025 年度

事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2025年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【9,170】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催する。	4月, 7月 10月, 1月	東京都 新宿区 オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	100
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人 事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約450人	2,000
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」を増刷する。	10月	-	10人	海洋音響に関心のある者	約200人	1,100
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」の改訂版の検討を始める。	6, 8, 10, 12月	法人 事務所	10人	海洋音響に関心のある者	約200人	400
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	6月	東京都 目黒区 オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	1,800
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	10月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	300

普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度、談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響 に関心のある者	延べ約 200人	450
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響 に関心のある者	約50人	600
普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人 事務所	8人	一般市民	不特定 多数	400
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する。 海洋音響に関する研究の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。	表彰:6月 委員会: 随時	東京都 目黒区 オンライン会議	12人	海洋音響 の研究者	若干名	700
企画交流促進事業	事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催・後援を行う。	随時	東京都 新宿区 オンライン会議	25人	海洋音響 に関心のある者	不特定 多数	320
企画交流促進事業	学会誌アーカイブデータのホームページ掲載、ホームページ英文化の検討を行う。	随時	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響 に関心のある者	不特定 多数	1,000

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2025年度 活動予算書（案）			
2025年4月1日から2026年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,590,000		
賛助会員受取会費	7,560,000	9,150,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	887,000		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	887,000	
3 受取補助金		0	
4 受取寄附金		0	
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			10,127,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	20,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	20,000		
(2) その他経費			
事務委託費	2,910,000		
消耗品費	500,000		
通信運搬費	100,000		
旅費交通費	360,000		
印刷製本費	2,680,000		
会議費	1,930,000		
謝金	660,000		
雑費	10,000		
その他経費計	9,150,000		
事業費計		9,170,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,960,000		
消耗品費	100,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	150,000		
印刷製本費	50,000		
会議費	400,000		
雑費	15,000		
その他経費計	3,875,000		
管理費計		3,875,000	
経常費用計			13,045,000
当期経常増減額			△ 2,918,000
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,918,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			23,590,954
次期繰越正味財産額			20,672,954

2025, 2026 年度役員の選任について

1. 2025, 2026 年度理事（案）

理 事（18 名）

赤松 友成	武田 啓之
甘糟 和男	土屋 健伸
伊藤 雅紀	中野 正規
海老原 格	南利 光彦
及川 正道	松本 さゆり
小笠原 英子	向井 徹
小澤 康彦	横田 裕輔
澤田 浩一	吉澤 真吾
島田 久仁彦	
志村 拓也	

2. 2025, 2026 年度会長および副会長候補（選挙結果報告）

会 長	澤田 浩一
副会長	赤松 友成
	土屋 健伸

3. 2025, 2026 年度監事（案）

監 事	遠藤 信行
	蜂屋 弘之

2024 年度事業内容

○ 研究発表会

(6/13, 14 東京大学生産技術研究所コンペンションホール及びオンライン開催)

特別講演 AUV を支える海中音響技術
巻 俊宏 (東大生研)

優秀論文発表賞の贈呈:

- ・ 題 目 障害物環境下におけるエコーロケーションコウモリの飛行経路とパルス放射タイミングの予測
発表者 青木耀大 (同志社大)
- ・ 題 目 GNSS-A 観測に用いられる音響波形劣化の原因の特定
発表者 吉住優憧 (東大)
- ・ 題 目 直交信号分割多重方式を用いる水中音響通信における BPDN の大域最適解に基づく性能向上
発表者 石島諒一 (筑波大院)

○ 談話会

第 1 回 (8/27 東京工業大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

議題: 水中音響, 超音波一般

「適応型フィルタによる連続せん断波エラストグラフィ法における肋骨振動由来のせん断波の除去」

田野直輝 (東工大)・江田廉 (群馬大)・谷川俊一郎・神山直久 (GE ヘルスケア)・
山越芳樹 (東工大/群馬大)・田原麻梨江 (東工大)

「超音波変位ベクトル観測における多次元自己相関法と多次元クロススペクトル位相勾配法の最適化処理(その 2) ～ 後天的な適応型正則化、超解像における処理を含む報告～」

炭親良・鳥居直晃・加藤照都・藤原琉暉 (上智大)

「浮体式洋上風力発電からの騒音の水中音波伝搬の数値解析」

土屋健伸・小松史弥・森淳一・遠藤信行 (神奈川大)

「音響灯台方式水中音響測位の誤差低減に関する検討」

小西晋輔 (多摩川電子)・山田優生・吉澤真吾 (北見工大)・
杉本英樹 (五洋建設)・松本さゆり (港空研)

「水槽実験による GNSS-A 観測に用いられる音響信号の特性評価」

吉住優憧 (東大)・永江航也 (海保)・横田裕輔 (東大)・石川直史・渡邊俊一・
中村優斗 (海保)・井上智裕・河野賢司 (東大)・飯沼卓史 (JAMSTEC)

「水槽実験から見る SGO-A 観測の音響測距波形の特徴」

永江航也 (海洋情報部)・横田裕輔 (東大生研)・石川直史・渡邊俊一・
中村優斗 (海洋情報部)・吉住優憧 (東大新領域)・
井上智裕・河野賢司 (東大生研)・飯沼卓史 (JAMSTEC)

「海底地震計網による長距離海中伝搬波の観測」

岩瀬良一 (JAMSTEC)

「直交信号分割多重方式を用いる水中音響通信における BPDN の最適化」

石島諒一・海老原格・若槻尚斗・前田祐佳・水谷孝一 (筑波大)

「FDTD シミュレーションを用いた移動ロボット向け音響測位システムの設計と検証」

土屋充志・若槻尚斗・海老原格・善甫啓一・水谷孝一 (筑波大)

○ 技術講習会

第 34 回技術講習会

(12/17 早稲田大学コマツ 100 周年記念ホール)

主題：水中生物の聴覚と騒音の影響

「水中生物音響学概要」

赤松 友成 (早大)

「魚類の聴覚と音に対する反応」

小島 隆人 (日大)

「水棲哺乳類の聴覚と音に対する反応行動」

木村 里子 (京大)

「洋上風力発電と環境モニタリング」

會田 義明 (環境省)

「深海底開発と海中環境モニタリング」

鈴木 淳 (産業技術総合研究所)

「船舶騒音の計測と国際的な動き」

上入佐 光 (元 海上技術安全研究所)

○ 日本海洋工学会

総会

2 回 (通期第 33 回 6/27, 第 34 回 3/17)

理事会

2 回 (通期第 49 回 6/27, 第 50 回 3/17)

運営委員会

2 回 (第 202 回 6/27, 第 203 回 3/17)

※6/27 オンライン会議、3/17 対面会議

第 31 回海洋工学シンポジウム

「海の多様性を知ることができる 2 日間～未来をひらく海～」(3/17, 3/18 開催)

○ 委員会

企画運営委員会

3 回 (9/25、12/19, 2/3)

全てオンライン会議

表彰委員会

3 回 (6/25, 3/6, ○3/31)

○印はメール稟議, 無印はオンライン会議

編集委員会

8 回 (4/22, 6/17, ○7/26, 9/17, 10/23, ○12/13, 1/22, 3/24)

○印は対面会議、その他は全てオンライン会議

ホームページ委員会

メール等で数回審議

研究発表会実行委員会

1 回 (10/10)

2025, 2026 年度の評議員

1. 通常会員の評議員 (49 名) (選挙結果報告)

赤松 友成	加藤 健太郎	陶 良	向井 徹
甘糟 和男	川崎 良道	長澤 修宏	村上 泰
石前 浩蔵	黒山 喬允	中村 義行	森 和義
今泉 智人	西條 猷児	西森 靖	森下 到
梅津 功	佐藤 隆一	野村 英之	屋内 伸治
海老原 格	澤 隆雄	長谷川 浩平	矢吹 哲一朗
遠藤 信行	澤田 浩一	飛龍 志津子	山口 功
及川 正道	志村 拓也	藤本 治	横田 裕輔
太田 和彦	高尾 芳三	干場 功太郎	吉澤 真吾
小笠原 英子	田中 正吉	松本 さゆり	渡辺 好章
奥山 智尚	土屋 隆生	水野 勝紀	
尾崎 俊二	土屋 健伸	宮城 亜紀	
越智 寛	土屋 利雄	宮本 佳則	

2. 賛助会員 (入会予定含む) の評議員 (29 名) (本会に対する代表者)

あおみ建設(株)	吉原 到
(株)アクアサウンド	笹倉 豊喜
NECネットワーク・センサ(株)	螺良 豊
(株)OKIコムエコーズ	宮地 真
沖電気工業(株)	武田 啓之
海洋エンジニアリング(株)	鬼頭 毅
国立研究開発法人 海洋研究開発機構	出口 充康
(株)海洋先端技術研究所	植木 俊明
海洋電子工業(株)	竹之内 静香
川崎重工業(株)	南雲 岳
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	
港湾空港技術研究所	小澤 康彦
五洋建設(株)	増谷 正治
三波工業(株)	細川 靖浩
ジャパン マリンユナイテッド(株)	島田 久仁彦
ジェイ・アール・シー特機(株)	杉本 誠
JMUディフェンスシステムズ(株)	小倉 一郎
(株)多摩川電子	齋藤 隆
(株)ソニック	伊藤 宏
(株)東陽テクニカ	三野 仁裕
日本アビオニクス(株)	菅野 大介
日本海洋(株)	堺 理紗子
日本電気(株)	中野 正規
日本電気航空宇宙システム(株)	澤口 桂一
日本無線(株)	森下 雅透
(株)日立製作所	南利 光彦
古野電気(株)	伊藤 雅紀
三菱重工業(株)	村山 聖
三菱プレシジョン(株)	錦織 慎治
横浜ゴム(株)	根本 圭一

2024 年度表彰一覧表

○論文賞①

- ・ 題目 計量ソナーに用いるマサバのターゲットストレングスの計測と理論モデル解析

- ・ 受賞者（所属（当時））

閻 乃箏	（北海道大学水産学部）
向井 徹	（北街道大学大学院）
長谷川 浩平	（北街道大学大学院）
飯田 浩二	（北街道大学大学院）
鶴田 直剛	（北海道大学水産学部）

- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 50, No. 4, pp. 107-122, 2023 年 10 月

○論文賞②

- ・ 題目 A sparse adaptive decision feedback equalization approach for the high data rate vertical underwater acoustic communication in deep sea

- ・ 受賞者（所属（当時））

樹田 行弘	（海洋研究開発機構）
出口 充康	（海洋研究開発機構）
志村 拓也	（海洋研究開発機構）

- ・ 掲載誌 Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 63, 04SP61, 2024

○業績賞①

- ・ 題目 マルチビームデータクラウド (AIMS; Acoustic IMaging and Survey cloud) の開発
（推薦にかかわる仕事をした期間：2020 年～2024 年）

- ・ 企業・団体名 港湾空港技術研究所、株式会社海洋先端技術研究所

- ・ 担当者（所属（当時））

松本 さゆり	（港湾空港技術研究所）
余野 央行	（海洋先端技術研究所）
梶 拓	（海洋先端技術研究所）
植木 俊明	（海洋先端技術研究所）
井村 洋介	（海洋先端技術研究所）

○業績賞②

- ・ 題目 音響灯台方式による高精度水中測位システム
（推薦にかかわる仕事をした期間：2022 年～2024 年）

- ・ 企業・団体名 五洋建設株式会社、株式会社多摩川電子、港湾空港技術研究所

- ・ 担当者（所属（当時））

杉本 英樹	（五洋建設株式会社）
増谷 正治	（五洋建設株式会社）
堤 賢一郎	（五洋建設株式会社）
吉澤 真吾	（北見工業大学）
齋藤 隆	（株式会社多摩川電子）
小西 晋輔	（株式会社多摩川電子）
松本 さゆり	（港湾空港技術研究所）

○JAMSTEC 中西賞

(日本海洋工学会より贈呈)

・題目 直交信号分割多重方式を用いる水中音響通信における BPDN の大域最適解に基づく性能向上

・受賞者 (所属 (当時))	石島 諒一	(筑波大院・シス情)
	海老原 格	(筑波大・シス情系)
	若槻 尚斗	(筑波大・シス情系)
	前田 祐佳	(筑波大・シス情系)
	水谷 孝一	(筑波大・シス情系)

・掲載誌 海洋音響学会 2024 年度 研究発表会 講演論文集, pp. 63-66